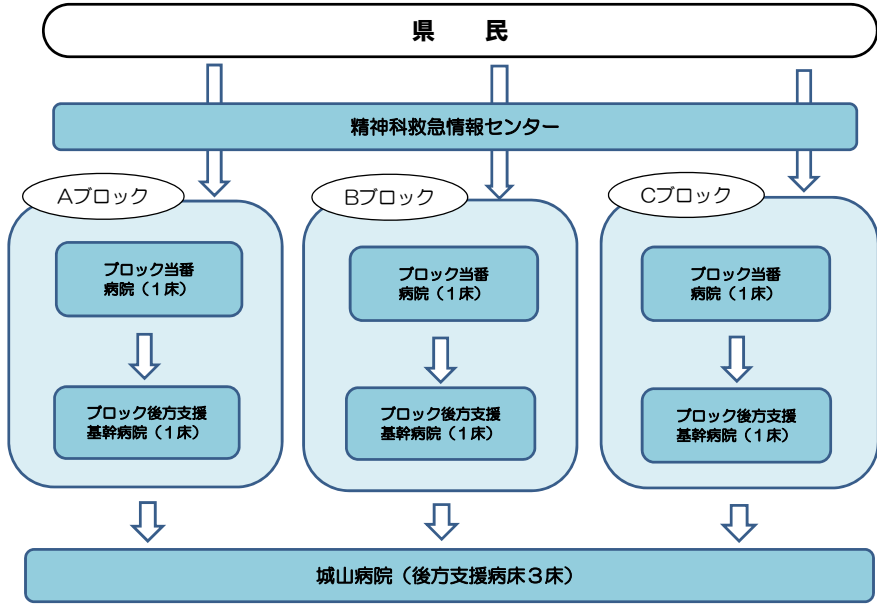


精神科救急医療体制について

これまでの体制	新たな救急医療体制（平成25年7月試行開始）																						
<p>○ 県内3ブロックによる輪番制のもと、各ブロックの当番病院は空床1床を確保し、県全体で3床の受入病床を確保する。</p> <p>○ 城山病院は、当番病院が確保している空床1床を超えた患者が発生した場合に備え、後方支援病床として3床の空床を確保する。</p>	<p>○ 県内3ブロックによる輪番制を基本とし、これまでどおり当番病院での空床確保は1床とする。</p> <p>○ 3ブロックにそれぞれ後方支援基幹病院（輪番制）を設け、救急入院事例が複数発生した場合に、当番病院の後方支援を担うため空床1床を確保する。</p> <table border="1" data-bbox="890 478 2220 661"> <tr> <td>A（尾張A）ブロック</td> <td>絃仁病院、東尾張病院、守山荘病院</td> </tr> <tr> <td>B（尾張B）ブロック</td> <td>桶狭間病院藤田こころケアセンター、松蔭病院、八事病院、共和病院</td> </tr> <tr> <td>C（三河）ブロック</td> <td>刈谷病院、京ヶ峰岡田病院、松崎病院豊橋こころのケアセンター</td> </tr> </table> <p>○ 城山病院は、ブロック内の輪番制当番病院及び後方支援基幹病院で対応が困難な場合に、最後の砦として、最終後方支援の役割を担う。（改築後は空床5床確保）</p> <p><精神科救急体系図></p>  <p>○ 後方支援基幹病院搬送実績（平成25年7月1日～平成26年3月14日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当番病院から後方支援基幹病院への依頼件数 20件（Aブロック 9件、Bブロック 9件、Cブロック 2件） <p>（後方支援基幹病院 対応内訳）</p> <table border="0" data-bbox="1023 1669 2582 1963"> <tr> <td>・入院</td> <td>8件</td> <td rowspan="4">→</td> <td rowspan="4"> <table border="0"> <tr> <td>城山病院に入院</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>隣接ブロックの後方支援基幹病院に入院</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>他の病院に入院</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>当番病院が何らかの形で対応</td> <td>3件（うち1件は城山病院へ連絡せず）</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>・外来診療</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>・受入困難</td> <td>9件</td> </tr> </table>	A（尾張A）ブロック	絃仁病院、東尾張病院、守山荘病院	B（尾張B）ブロック	桶狭間病院藤田こころケアセンター、松蔭病院、八事病院、共和病院	C（三河）ブロック	刈谷病院、京ヶ峰岡田病院、松崎病院豊橋こころのケアセンター	・入院	8件	→	<table border="0"> <tr> <td>城山病院に入院</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>隣接ブロックの後方支援基幹病院に入院</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>他の病院に入院</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>当番病院が何らかの形で対応</td> <td>3件（うち1件は城山病院へ連絡せず）</td> </tr> </table>	城山病院に入院	3件	隣接ブロックの後方支援基幹病院に入院	1件	他の病院に入院	2件	当番病院が何らかの形で対応	3件（うち1件は城山病院へ連絡せず）	・外来診療	3件	・受入困難	9件
A（尾張A）ブロック	絃仁病院、東尾張病院、守山荘病院																						
B（尾張B）ブロック	桶狭間病院藤田こころケアセンター、松蔭病院、八事病院、共和病院																						
C（三河）ブロック	刈谷病院、京ヶ峰岡田病院、松崎病院豊橋こころのケアセンター																						
・入院	8件	→	<table border="0"> <tr> <td>城山病院に入院</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>隣接ブロックの後方支援基幹病院に入院</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>他の病院に入院</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>当番病院が何らかの形で対応</td> <td>3件（うち1件は城山病院へ連絡せず）</td> </tr> </table>	城山病院に入院	3件	隣接ブロックの後方支援基幹病院に入院	1件	他の病院に入院	2件	当番病院が何らかの形で対応	3件（うち1件は城山病院へ連絡せず）												
城山病院に入院	3件																						
隣接ブロックの後方支援基幹病院に入院	1件																						
他の病院に入院	2件																						
当番病院が何らかの形で対応	3件（うち1件は城山病院へ連絡せず）																						
・外来診療	3件																						
・受入困難	9件																						

精神・身体合併症対策事業について

	精神・身体合併症病床整備	救急病院と精神科病院の連携																		
これまでの状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 藤田保健衛生大学・救命救急センター部門に精神科医を配置し、空床2床を確保することで、24時間体制で精神・身体合併症患者の受入れを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 精神・身体合併症患者で重篤な身体疾患がある患者については、救命救急センター等の救急病院において受入れを行っている。 ○ 一部の救急病院においては、精神科病院と自主的な連携により、身体疾患の救急治療後の患者を精神科病院へ転院させている。 																		
計画策定後の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 藤田保健衛生大学病院に合併症病床32床を整備（平成25年6月） ○ 愛知医科大学病院に精神・身体合併症病床を2床整備予定（平成26年度） <p>＜救急病院と精神科病院の連携イメージ＞</p> <p>① 身体の急性期治療終了後、連携先の精神科病院へ転送の問い合わせ及び患者の状況を送付する。 ③ 精神科病院が必要とする情報を追記し、患者を搬送・受診させる。</p> <p>② 救急病院からの情報を受け、受入可(否)及び必要な情報を要望する。 ④ 患者受入れ後の状況・状態について情報提供する。</p> <p>⑤ 症状の変化に応じた、患者搬送後の身体疾患に関する(電話)相談</p> <p>⑤ 身体疾患の入院管理のための診療応援</p> <p>①～⑤の連携を、パスを作成・活用することにより行う。</p> <p>愛知県 連携事例を収集し、今後、県内に病院間連携を拡大していくために活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 救急病院と精神科病院の連携により、救急病院で一旦受け入れた患者を、身体疾患の救急治療終了後、速やかに精神科病院に転院させるシステムを構築するため、平成25年9月からモデル事業を実施。 <p>1 連携モデル事業実施病院</p> <table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">救急病院</td> <td style="text-align: center;">-----</td> <td style="text-align: center;">精神科病院</td> </tr> <tr> <td>名古屋掖済会病院（中川区）</td> <td></td> <td>松蔭病院（中川区）</td> </tr> <tr> <td>名古屋第二赤十字病院（昭和区）</td> <td></td> <td>八事病院（天白区）</td> </tr> <tr> <td>旭労災病院（尾張旭市）</td> <td></td> <td>東尾張病院（守山区）</td> </tr> <tr> <td>刈谷豊田総合病院（刈谷市）</td> <td></td> <td>刈谷病院（刈谷市）</td> </tr> <tr> <td>トヨタ記念病院（豊田市）</td> <td></td> <td>仁大病院（豊田市）</td> </tr> </table> <p>2 内容</p> <p>救急病院・精神科病院間において、連携パスを作成・活用することにより、救急病院に運ばれた精神・身体合併症患者を、身体疾患の救急治療終了後、速やかに精神科病院へ患者を転院させる、モデル事業を実施。</p> <p>連携事例を収集・活用することにより、県内における救急病院と精神科病院の連携の拡大を目指していく。</p> <p>3 実施期間 平成25年9月～平成28年3月（予定）</p> <p>4 連携実績（平成25年9月～26年2月） 連携パス活用件数 80件</p> <p>＜病院からの声＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判断やアドバイスをもらいやすくなった。 ・連携がシステマチックに動くようになり、安心して患者を送れるようになった。 ・従来なら受け入れてもらえないケースでも受け取ってもらえるようになった。 	救急病院	-----	精神科病院	名古屋掖済会病院（中川区）		松蔭病院（中川区）	名古屋第二赤十字病院（昭和区）		八事病院（天白区）	旭労災病院（尾張旭市）		東尾張病院（守山区）	刈谷豊田総合病院（刈谷市）		刈谷病院（刈谷市）	トヨタ記念病院（豊田市）		仁大病院（豊田市）
救急病院	-----	精神科病院																		
名古屋掖済会病院（中川区）		松蔭病院（中川区）																		
名古屋第二赤十字病院（昭和区）		八事病院（天白区）																		
旭労災病院（尾張旭市）		東尾張病院（守山区）																		
刈谷豊田総合病院（刈谷市）		刈谷病院（刈谷市）																		
トヨタ記念病院（豊田市）		仁大病院（豊田市）																		